

# 光山だより

## 学校園問題いよいよ動く

大沢町では生徒数が減少する中で、長年にわたって大沢校園の在り方について地域で議論を重ねてきました。学校園を存続させたいと言う切実な思いから27年3月に、隣接する長尾小学校より、家庭の判断で希望者については、大沢校への通学を認める事ができる。要望書を教育委員会に提出いたしました。その後、長尾町上津台に呼びかけ、地域交流を図りながら、要望書提出についての理解を求めてまいりました。その間、上津台自治会・長尾小学校PTAは、大沢町からの呼びかけをきっかけに、大沢校に通学を希望する保護者の意向調査をされ、大沢町の要望書に賛同する旨、教育委員会に要望書を提出していただきました。

これ等のことにより、大沢校PTAを含む町内関係者に対し、教育委員会より去る10月27日、次のような回答を得ることができました。長尾小学校区内に居住する小・中学生については、長尾小

校とつながっているが、大沢小・中学校への指定学校の変更を認める地区と設定し、希望者による指定外通学として大沢校へ通学可能となるよう、関係規定の改正を行う。この決定を受けて、大沢校において11月20日に長尾小学校区の保護者を対象に、大沢校への就学に関する説明会が実施されました。参加者は51世帯、生徒数は小中合わせて68名でした。大沢校に対する関心の深さに感謝したいと思います。通学の交通手段、学童保育等、種々の課題はありますが、来年春に入学してくれる子供達には、大沢町として大沢っ子と同じように大切にしなければならぬと考えています。大きな第一歩を踏み出せる事について、ご理解いただきました教育委員会をはじめ、長尾小学校区、大沢校区の関係者、各校区のPTAをはじめとする地域の皆様に、深く感謝申し上げます。あたたか味のある中でも、賑やかさのある学校らしい学校、特色

11月号 発行

大沢地域のまちづくり協議会広報部

<http://www.ozo.jp>

**音楽会**  
10月29日(土)、大沢校合同音楽会が行われました。



**芸術祭**  
去る10月29日、30日両日にわたり、第36回おおぞう町民芸術祭が大沢校にて開催されました。今年も幼小中のさわやかで、かわいい歌声とすばらしい演奏がありました。改めて先生方の指導の良さを感じました。午後からは町内各種同好会の皆様の見事な演奏や演技披露がありました。今年は2組の初参加もあり多種多芸さにおどろきました。また、学校園を合わせて町民の皆様の丹精込めて作り上げられた作品400点余りが校舎内外に展示され、各団体のバザー出店と共に芸術祭を盛り上げて頂きました。2日目には地域事務局主催で、竹内昌彦先生の講演会がありました。日頃何となく生活している私達にとって、生きる喜び、命の大切さをもっと考えなければならぬと思われました。最後に学校の先生方、各種団体、町民の皆様方御協力ありがとうございました。小池 光雄

今年はいよいよ幼稚園児3名が小学校低学年といつしよに合唱のひら太陽に」と合奏 オブラディ・オブラダ」をがんばりました。高学年は地球の平和を歌った「地球星歌」、合奏はリズムにのって「テキーラ」を楽しそうに演奏してました。中学生は合唱「明日の空へ」と合奏「カルメン」を、そして、「エンディングはみんなでくりました。それぞれ合唱では皆の息を合わせること、一つ一つの言葉を大切に伝えることを大事にして練習を重ねました。合奏では早くから楽譜に音名をふったりリズムを読んだりすることを始め、全員が自分の音に責任を持って演奏するよう努めました。限られた人数の中で曲を作り上げることは決して簡単な事ではなく、必死に練習に取り組みました。その頑張りがあったからこそ、当日沢山の方から拍手をいただいたのだと思います。最後に、音楽会を運営するにあたってご尽力いただいた地域の方々、保護者の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 児童館だより

地域の皆様、中村節次先生のご指導のお蔭で、今年も「菊づくり」をすることができました。白サビ病にかかり葉を散布したり、青虫を駆除したり、と色々なことがありました。町民芸術祭に出展できた時には、ほっとしました。子どもたちも難しい支柱立てや輪台付けに取り組みました。集中し一生懸命に作業する姿がとても印象に残っています。

11月5日、神付・産土の森で親子クッキングをしました。普段では経験できないことをさせていただきました。楽しい一日を過ごしました。神付・産土の森の会の岩田会長さんをはじめスタッフの方には大変お世話になりました。



た、篠宮シェフ、馬場管理栄養士さんには、美味しい料理を有難うございました。(齋藤洋司)



絵：仲東 克子

歳末助け合い募金にご協力お願いします



### 大沢の子供たちの絵



道の駅工事中のフェンス

### 俳句

故井照様進悼句  
遊きし人句の師でありし菊重る 三恵子  
秋風も秀作残し黄葉の旅 ちが  
紅葉散る身を生涯夢るるかに 純子  
行く秋も空の空席を公かりし 弘枝  
朝夕や寒く身にしむ冬をかな たち  
手術受く用意もしくかと秋深し 正子  
遠目にも銀杏色つき師の庵 澄子  
店頭にみかん大小艶やかに 秀子

### スポーツ情報

11/1  
J A大沢支店ふれあいゴルフ大会  
於 北六甲C C  
優勝 岡 農夫さん  
準優勝 坂井正和さん  
第3位 山中博司さん

### 行事予定

12/5 光山だより編集委員会  
12/8 ふれあい昼食会  
12/12 婦人会定例役員会  
12/15 胃部検診  
12/16 自治連合会役員会  
12/18 らぼくとヨガ教室  
12/25 おもしろ市場餅つき大会  
12/26 女性会学級 生花教室



### 町民の動き

11/5 中大沢 中西皓哉さん 松下亜美さんと  
10/2 市原 工藤 祥さん  
11/2 中大沢 中西正樹さん ひかりちゃんを  
10/2 羽珠 うみちゃんを  
11/5 中大沢 辻井宣江さん 86歳  
11/10 中大沢 辻まさるさん 95歳

お礼  
神付地区辻井隆治様 中大沢地区藤井淳一様より善意の寄託をいただきました。ありがとうございました。

神戸イルミネーション  
11/1~2/12 17:00~22:00



### プロジェクト長会議

11月18日P-I長会議が開催されました。今年度におけるこれまでの活動報告と、今後の活動計画を各プロジェクト長より発表頂き、関係者間において情報の共有をすることが目的の会議です。次回は来月1月20日(金)を予定しており、全体会を3月上旬に開催したいと思っております。日程の詳細は年明けに報告できる予定です。

### 学校園PJ

他地区より多数のご家族をお招きし、大沢校にて学校説明会が開催されました。詳しくは別稿をご覧ください。子供たちのにぎやかな声がより多く聞こえる学校になればよいですね。



### エコハイキング盛況

11月23日、寒風に身を縮めなが

らも参加者の皆さんは元気に集合場所に来られました。今回も超える参加があり、例年以上に大盛況となりました。



受付の後、さっそく大根などの野菜を手にして重さ当てクイズ



に投票、高山自治連会長の挨拶と生物多様性保全における大沢町の取り組みなどを聞いたのち、元氣いっぱいスタートしていかれました。

光山寺での昼食時には、女性会による温かいおもてなしをいただきながら、今問題になってくる「なら枯れ」の話聞き、自然環境保全には多くの人が係る



必要があることを感じ取っていただけだと思います。

色づいた山々と田園風景の中、ハイキングを楽しんでいただいた皆さんお疲れ様でした。来年もまたお会いしましょう。

### やまびこ号

運行中の「やまびこ号」は今年で試験運行を終了します。9月運行開始より11月11日現在で、延べ319名の皆さんに利用いただきました。これまでの試験運行の結果内容をもち、大沢町におけるより良い交通手段の構築を予定しています。運行範囲・運行時間帯など、町民の皆さんからの希望などを、再度のアンケートにより集約したいと思っております。ご協力をお願いいたします。詳細については、11月30日に予定しております交通部会で協議するつもりです。

### 農産物の拡大へ

大沢町のみならず、北区における夏のブランド作物ともいえるスイートコーンですが、来年度は11の農園が取り組み、作付面積も8割増しの221アールを計画し



ております。JAや直売所への契約出荷も充実させ、さうもろこし狩りだけでなく安心して栽培できる体制の確保に取り組んでいきます。有馬山椒は3月に今年度の苗木を配布し、5月にはいよいよ初出荷が予定されております。

遊休農地の解消にもつながる作物ですので、より多くの参画者の皆さんを今後も募集いたします。また、1月12日(木)大沢カフェ901さんのご協力で、イチゴ、ちじみホウレンソウの販路拡大にむけた取り組みを計画しておりますので、お楽しみにお待ちください。

### 新たな住民

中大沢地区に新たに移住して来られる方がおられます。また日西原(田栗谷)地区では、移住に向けた最終調整の話合いが現在進んでいます。少子化だけでなく、絶対的な総住民数の減少が危惧されている我が町に、以前のような活気が戻ってくることを期待します。



### 兵庫県遺族会 青年部設立

青年部副部長兼事務局長

藤崎 潤

10月29日に南あわじ若人の広場にて「戦没学徒慰霊式」、神戸にて「兵庫県遺族会青年部設立総会」を開催致し、青年部会員26名の参加があり来賓も含め約70名の盛大な発足式となりました。孫・曾孫世代ということで、年齢は30代から60代までと大変幅広く、女性の入会も多数あり年齢性別問わず現在150名超の会員での船出となりました。

青年部発足以上に今後どのような活動をしていくのが重要か。一つお願いとして、皆様のご家庭や地域で、戦時中や地元の歩み、若い世代に話して頂きたいと思っております。そして若い世代である我々はそれを受け止め、各家庭で先祖を祀りし、地域の慰霊祭等のお手伝いを通して、



大切に守ってこられた事を学び、更に次の世代に託して行きたいと思っております。

青年部として我々世代だからこそできる事業も検討しております。仕事も現役でなかなか参加出来ない方も多いため存じますが、できる時に参加頂ければと思います。遺族会青年部にお力添えの程お願い申し上げます。 **会員募集中**

www.hyogozokukai.com

兵庫県遺族会ホームページ

### 芸術祭

### 「見えないから見えたもの」

今年芸術祭2日目に、元岡山県立盲学校教頭 竹内昌彦先生の講演会と先生の半生を描いた映画の上映会を開催しました。

幾多の困難な道を歩き、辛い思いの中を生きてきた人ほど、全ての人に優しく寄り添い、思いやりの心で包んであげることが出来るのだという、涙と感動の講演会でした。竹内先生は、幼少期の病氣により失明され全盲。「はじめ」障害者差別」など幾多の困難を乗り越えてこられました。東京パラリンピックでの金メダル獲得。その後、教師になり結婚、しかし

必要があることを感じ取っていただけだと思います。

色づいた山々と田園風景の中、ハイキングを楽しんでいただいた皆さんお疲れ様でした。来年もまたお会いしましょう。

### 道の駅進捗状況

11月に入り道の駅のシンボル施設となる「アームサーカス」の建物がついに姿を現しました。これまで「3月末」としていた工事も順調に進行しております。この工事現場の外壁には、大沢小

待ち望んだ長男は、脳性小児麻痺。まさに波乱の人生でした。多くのハンディを背負いながらもモンゴルやキルギスに盲学校を設立され、社会的にも大きく貢献されている先生です。最後に、震災で生きていたかったのに、亡くなってしまった人が多数いる。どんなことがあっても自ら命を絶つことをしてはならない。いじめにあつたら「はじめにあってる」と誰かに相談しなさい。助けを求めなさい。また、相談された人は、絶対に聞きのがさないで。そして、行動を起こしてあげないと、「はじめっ子の味方」をしたことになりません。と締めくくられた言葉が、印象的でした。この「命の大切さ」をテーマにした映画と講演会を、多くの方が涙しながら聴かれたことと思います。皆さんは、どんなことを感じていたのでしょうか。

高山 寿和

